

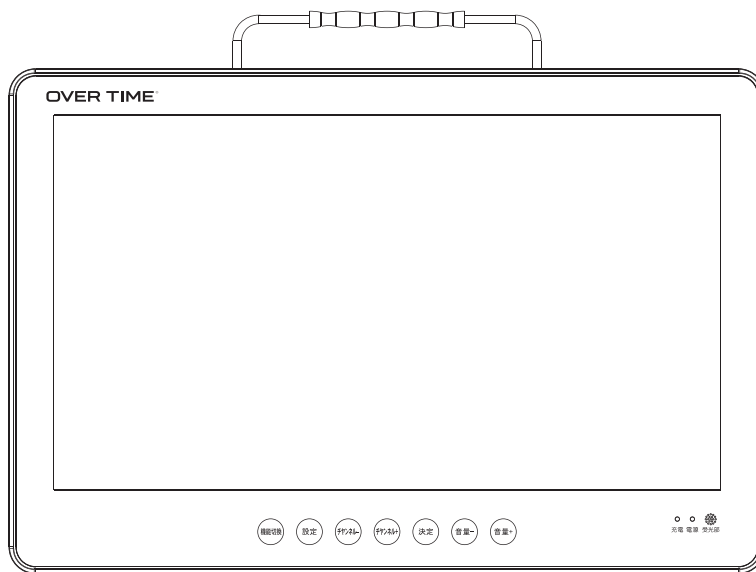
型番：OT-WPT14AK

(家庭用)

この度は本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

14インチ防水 ポータブル地デジTV

取扱説明書



<必ずお読みください>

電気製品は安全の為に注意事項を守らないと、重大な事故が起きる場合があります。この取扱説明書には、事故を未然に防ぐ為の重要な事項や取扱い方法を明示しております。本書をよくお読みの上、安全にご使用くださいますようお願い申し上げます。

本機の防水クラスはIPX7相当です

※ただし「湿度の高い場所」や「温度差が激しい場所」での保管や長時間の利用は内部で結露等が発生する場合があります。本書内の注意などを遵守の上、正しくご利用ください。誤使用による故障や不具合は、無償保証の対象外です。

※本書はいつでも見られる場所へ大切に保管してください。

目次

はじめに

安全上の注意	3-6
付属品リスト	7
各部名称（本体）	8
各部名称（リモコン）	9
リモコンについて	10
ご視聴前の準備	
機器の設置	11
B-CAS カードの準備	12
アンテナの準備	13
電源の準備	14
放送局（CH）の登録	15-16
アンテナ受信レベル	17
充電池について	18
テレビを視聴する	
基本的な使い方	19-20
電子番組ガイド（EPG）の利用	21
「録画」に関する機能や操作	
録画機能について	22
録画用メディアの準備	23-24
「録画」に関する機能の利用	25-28
付加機能を利用する	
外部機器の接続／入力ソース切換	29
メディアプレーヤーソフトの利用	30-31
機器の調整（機器設定メニュー）	32
リモコンの主なボタン操作（テレビモード）	33
（その他のモード）	34
トラブルシューティング	35-37
製品仕様	38
その他（各種注釈や免責など）	39
アフターサービス／保証規定	40

はじめに

安全上の注意

- ご使用前に当項「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- 当項に明示された事項（「警告」「注意」）は安全に関する重大な内容が記載されておりますので必ずお守りください。
- 当項に明示された事項を守らず故障や不具合が発生しても保証は適用されず、当社では一切の責任を負いません。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“ 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症（*1）を負うことが想定されること ” を示します。
 注意	“ 取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること ” を示します。

（*1） 重症とは失明やケガ、やけど（高温／低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院や長期通院を要するものをさします。

（*2） 傷害とは治療に入院や長期通院を要さないケガ、やけど、感電などをさします。

（*3） 物的損害とは家屋、家財および家畜、ペットなどに関わる拡大損害をさします。

■図記号の例

図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ” は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は指示行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制事項の内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。
	“  ” は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や付近に絵や文章で示します。

異常／故障のとき

 警告

発煙や異臭がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。発煙がおさまったことを確認し、お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。



内部に水や異物が入った場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



製品の落下やキャビネットの破損がおきた場合、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



コード部分の損傷や電源プラグの異常な発熱がおきた場合、すぐに電源を切り、プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜くこと

そのままご使用を続けると、火災や感電の原因となる場合があります。お買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまで点検をご依頼ください。



はじめに

安全上の注意

設置されるとき	 警告
電源プラグは先に本体に接続してからコンセント（またはシガーソケット）に接続すること 電源アダプターは付属されている本機専用のアダプターを使用すること 接続順を逆にしたり、付属品以外の物を使用した場合、火災や感電の原因となる場合があります。（※車用 DC アダプターは DC12V マイナスアース車専用です）	 指示
機器や付属品の上に物を置かないこと 金属類、液体が入ったもの（花瓶、コップ、化粧品など）、重いものなどを機器の上に置くと、機器の破損、火災、感電、ケガなどの原因となる場合があります。	 上載せ 禁止
ご使用されるとき	 警告
改造・分解・修理などおこなわないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 点検や修理はお買い上げ販売店またはカスタマーサポートセンターまでご依頼ください。	 分解禁止
端子部や通気口などから異物を入れないこと 金属類、紙類、ほこりなどが内部に入るとショートして火災や感電の原因となる場合があります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入 禁止
雷が鳴りだしたら、本機およびアダプター等には触れないこと 感電の原因となる場合があります。	 接触禁止
コード類（電源コード、接続コードなど）は 「傷をつける」「延長などの加工を施す」「加熱する」「引っ張る」「無理に曲げる」 「ねじる」「束ねる」「重い物を載せる」 などの行為をおこなわないこと コード内部で断線やショートして、火災や感電の原因となる場合があります。	 禁止
お手入れについて	 警告
電源プラグの刃や刃の取付け面、コンセントの差込部分にゴミやほこりが付着している場合は、プラグを抜きしっかり取り除くこと 電源プラグの絶縁低下により、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。	 指示

はじめに

安全上の注意

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に設置しないこと 直射日光の当たる場所や締め切った自動車内や暖房機器周辺などに置くと、火災や感電の原因となる場合があります。また機器や部品の劣化、破損する恐れがあります。	 禁止
湿気、油煙、ほこりの多い場所に設置しないこと 火災や感電の原因となる場合があります。 また機器や部品の劣化、腐食、変形、破損する恐れがあります。	 禁止
風通しが悪い（換気できない）場所に設置しないこと 内部の温度が上昇し、ショート、故障、火災の原因となる場合があります。 特に「壁に押し付ける」「押入れや本棚に設置する」 「布や紙など引火しやすい物の付近に設置する」 などの行為をおこなわないこと	 禁止
設置場所を移動する場合、電源プラグや接続コードは外すこと プラグやコードを抜かずに運ぶと、コード類が傷つき、断線や故障、火災、感電の原因となる場合があります。また転倒によりケガをする恐れがあります。	 指示
ご使用されるとき	 注意
電源プラグを抜く場合、コード部分を引っ張らないこと コードを引っ張ると、コードが傷つき、断線、ショート、火災、感電の原因となる場合があります。必ず電源プラグを持って、抜いてください。	 引っ張り 禁止
濡れた手で電源プラグやコード類、コンセントを触らないこと 感電や機器の故障の原因となる場合があります。	 接触禁止
本機を長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障した場合、火災の原因となる場合があります。	 電源プラグ
主電源を入れる際は本体や接続機器の音量（ボリューム）にご注意ください。 最大音量の場合、大きな音が出て聴覚障害などの原因となる場合があります。	 指示
リモコンの電池を準備（交換）する場合、以下にご注意ください。 「指定外の電池を使用しない」「電池の仕様以外の方法で使用しない（推奨期限の厳守等）」 「極性（+/-）を間違えない」「使い切った電池をリモコンに放置しない」 ... など 正しく使用されない場合、液漏れ、破裂などにより、火傷やケガの原因となる場合があります。 （※ご購入初期時に同梱されている電池は試用品です）	 指示

はじめに

安全上の注意

◎取り扱いに関すること

- 引越しなどで遠方へ運ぶときは、柔らかい布などで包み、本機に傷がつかないようにご注意ください。
- 殺虫剤や揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などと長時間接触させないでください。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 普段本機をご使用されないときは、ディスクを取り出し主電源のスイッチを切っておいてください。
- 本機を長時間ご使用されると機器内部基盤が多少発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 長期に渡り未使用状態が続くと機器機能に支障がでる場合があります。

◎置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。グラグラする机や傾斜地など不安定な場所では使用しないでください。「倒れる」「落下する」などが起きてケガや故障の原因となる場合があります。
- 本機をテレビやラジオ、その他電子機器の周辺で使用すると、ノイズや電磁波などの干渉により映像や音声が乱れるなどの症状がでる場合があります。このような場合は設置場所を他の機器と干渉しない場所に移動してご使用ください。

◎お手入れに関すること

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にひたし、よく絞ってから拭き取ってください。汚れが取れたら乾いた布で水分をしっかりと拭き取ってください。
(注) ベンジン、シンナー等は使用しないこと。本機外観の変色や塗装が傷む原因となります。
- 化学ぞうきんをご利用される場合はその注意書きにしたがってください。

◎日本国内用／一般家庭用機器です

- 本機は日本国内で使用することを前提に製造されております。また一般家庭用機器として製造されております。日本国外での使用、業務用途、異常な連続使用などは行わないでください。

◎結露（露付き）について

- 結露は機器を傷めます。結露が起きそうな場所や条件下でのご使用にはご注意ください。
(参考) “結露” はこんなときにおきます。
 - ◇ 寒暖の差が激しい季節（特に車内や締め切った部屋など）
 - ◇ 機器を寒い場所から急に暖かい場所に移動したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房などにより部屋の室温が急に変化したとき
 - ◇ エアコン / ストーブ / その他冷暖房の風が直接あたる場所
 - ◇ 湿度の高い部屋で使用したとき
- 結露が生じて本機に水滴が付いた場合、
「電源（コンセントなど）」「アダプター」「電源プラグ」を接続し、暫く放置します。機器内部の温度が上がり、水滴がとれます。（※2～3時間 ※使用場所や環境により時間は異なります）

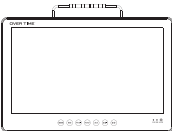
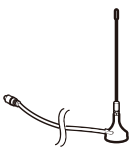
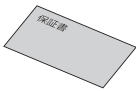
【!重要!】防水についての遵守/特記事項

- 本機(本体)はIPX7相当の防水性能を有しております(※本体 = IPX7相当 / リモコン = IPX6相当)
- 浴室・キッチン・その他の水まわり等でご利用される場合、必ず端子カバーが確実に閉まっていることをご確認の上、使用してください。
- 浴室など湿度の高い場所での長時間の利用や放置はしないこと。結露等による故障の原因となります。
- 海水(塩水)等がかかった場合、水滴をしっかりと拭き取る。端子部の腐食やサビの原因となります。
- 付属品類(電源アダプターやAVコードなど)は防水ではありません。

はじめに

付属品リスト

◎本機をご使用いただく前に、以下の内容物が全て揃っていることをご確認ください。

 ●本体	 ●リモコン (試用電池付)	 ●AC アダプター	 ●シガーソケット アダプター (12V 車専用)
 ●AV 接続コード (RCA) (Φ3.5mm)	 ●TV 受信用 簡易アンテナ (屋外用)	 ●取扱説明書 (本書)	 ●製品保証書
 ●車載用バッグ	 ●B-CAS カード		

※リモコン付属の電池はテスト用の試供品です。早めに新品と交換してください。

※シガーソケットアダプターについて ...

- お車でご使用の際は、安全な場所に停車してからご使用ください。
- お車と接続する際は、エンジンをかけてから接続してください。
- 当アダプターは DC12V バッテリー仕様の自動車専用です。
- 当アダプターはマイナスアース車専用です。
- 当アダプターの形状は一般的な車のシガーソケット形状に合せたものです。
車側のソケット部仕様によっては取付けられない場合があります。

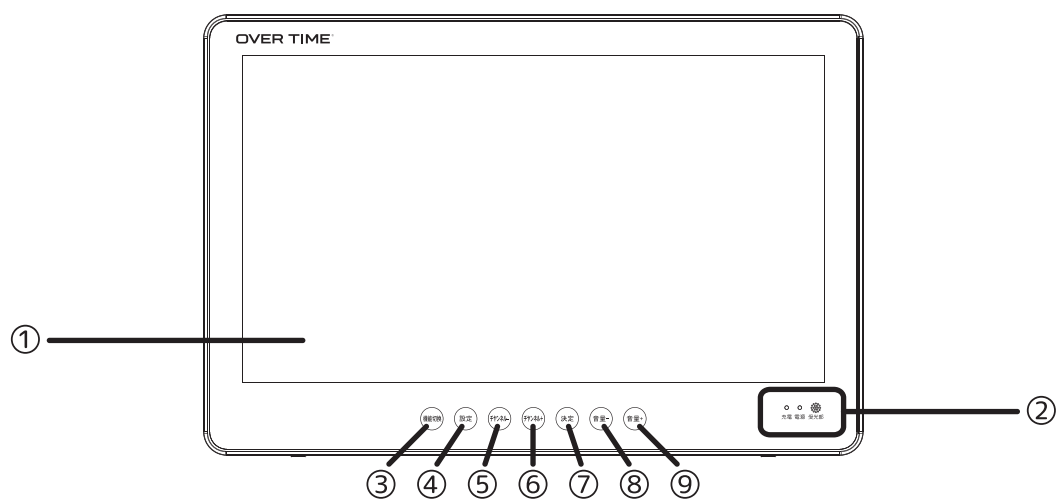
※TV 受信用簡易アンテナについて ...

- 本製品付属のアンテナは屋外用の簡易的なアンテナです。ブースター等は非搭載の為、設置場所によっては受信（視聴）できない場合があります。
特に初期設定（チャンネル登録など）を行う際はスキンの失敗や登録漏れを防ぐ為、受信感度の高いアンテナと接続して設定を行ってください。

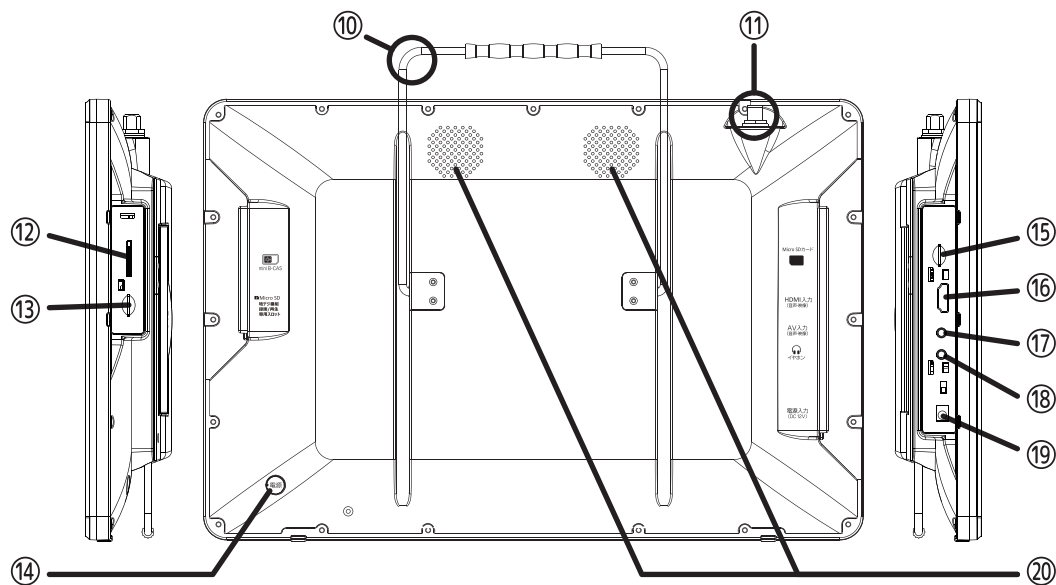
※イラストは説明用のものです。実物とは異なる場合があります。

各部名称（本体）

正面



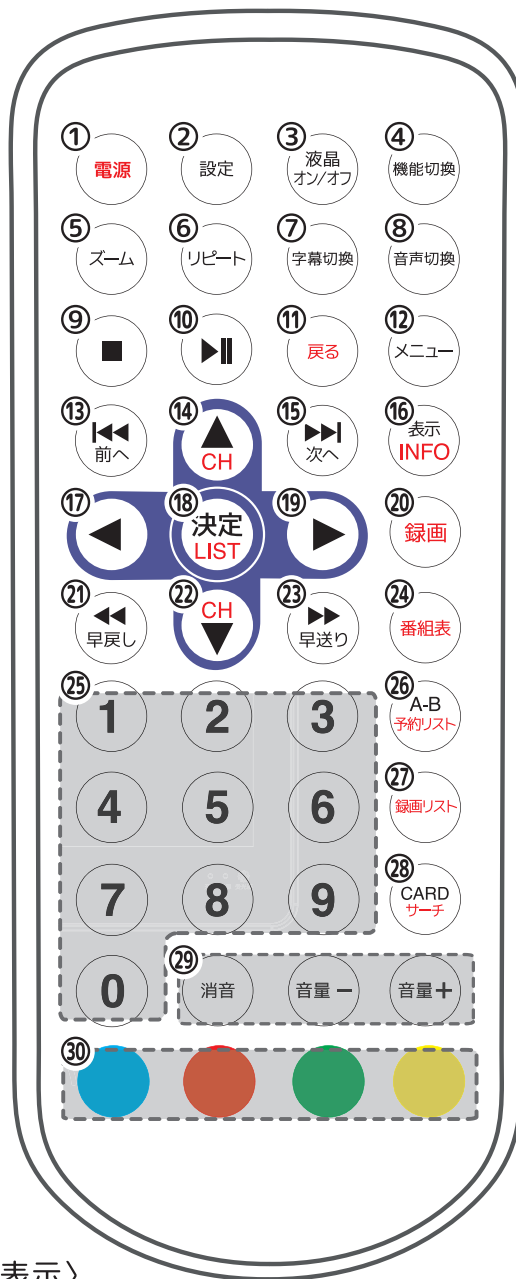
側面・背面



- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ① 液晶モニター | ② リモコン受光部&電源表示ランプ |
| ③ 機能切換ボタン | ④ 設定ボタン |
| ⑤ CH(+)ボタン | ⑥ CH(-)ボタン |
| ⑦ 音量(+)ボタン | ⑧ 決定ボタン |
| ⑨ 音量(-)ボタン | ⑩ アンテナ入力端子 |
| ⑪ 設置用スタンド | ⑫ miniB-CASカード挿入口 |
| ⑬ 電源ボタン | ⑭ 地デジ録画用microSDスロット |
| ⑮ 外部データ再生用microSDスロット | ⑯ HDMI入力端子 |
| ⑰ AV入力端子 | ⑱ イヤホン出力端子 |
| ⑲ DC電源入力端子 | ⑳ スピーカー |

各部名称（リモコン）

- ① 電源 〈電源オン⇔オフ〉
- ② 設定 〈設定メニュー表示〉
- ③ 液晶オン/オフ
- ④ 機能切換〈視聴モードの切換〉
(テレビ/AV/HDMI/TF)
- ⑤ ズーム 〈データ再生時のズーム切換〉
- ⑥ リピート 〈データ再生時のリピート設定〉
- ⑦ 字幕切換
- ⑧ 音声切換
- ⑨ 停止
- ⑩ 再生/一時停止
- ⑪ 戻る
- ⑫ メニュー
- ⑬ 前へ
- ⑭ 上/CH+ 〈カーソル移動/チャンネル切換〉
- ⑮ 次へ
- ⑯ 表示/INFO 〈情報表示〉
- ⑰ 左 〈カーソル移動〉
- ⑱ 決定/LIST
- ⑲ 右 〈カーソル移動〉
- ⑳ 録画
- ㉑ 早戻し
- ㉒ 下/CH- 〈カーソル移動/チャンネル切換〉
- ㉓ 早送り
- ㉔ 番組表 〈EPGガイド表示〉
- ㉕ 数字キー 〈数字を入力〉
- ㉖ A-B/予約リスト 〈A-Bリピート設定/予約リスト表示〉
- ㉗ 録画リスト
- ㉘ CARD/サーチ 〈チャンネルサーチ〉
- ㉙ 音量調整 〈左から「消音」「音量-」「音量+」〉
- ㉚ 〈青〉〈赤〉〈緑〉〈黄〉



！ヒント！

リモコンボタンの文字の色の違いは？
「黒」は主にデータ再生時の操作内容... 「赤」は主にテレビモードの操作内容...
を、表しています。

リモコンについて

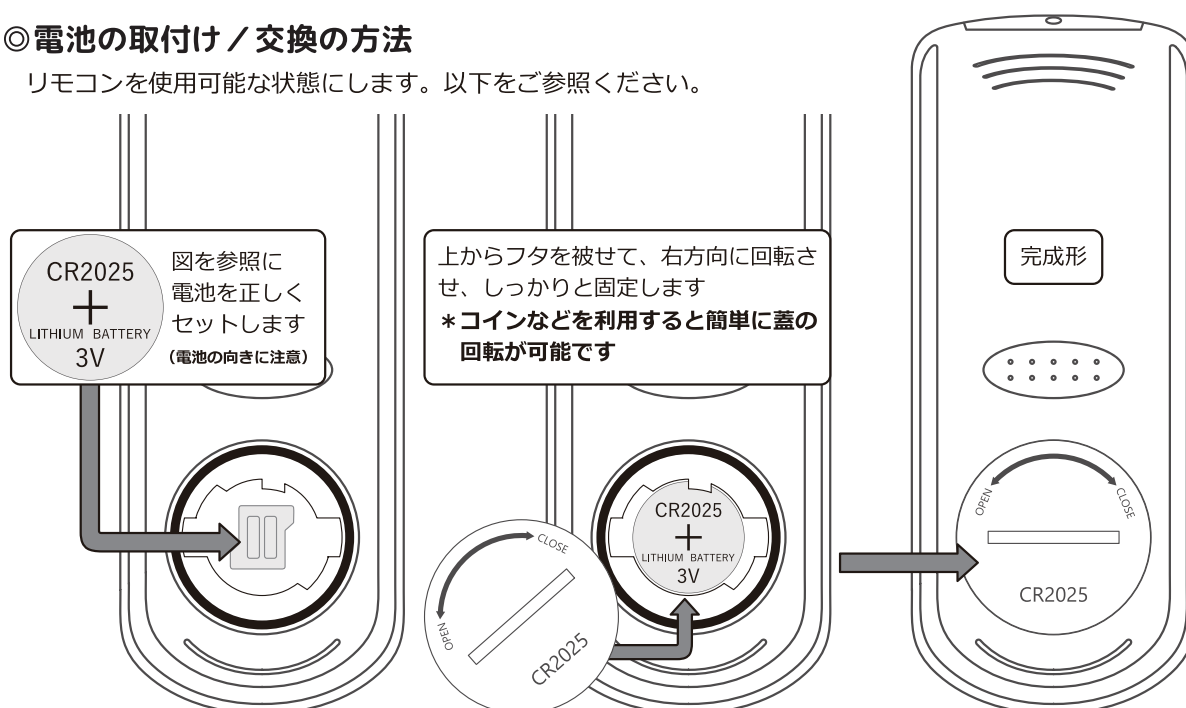
(電池交換 / 使用方法)

◎リモコン用の電池について

- リモコン用電池の規格型番は「CR2025」型ボタン電池です。
電池をご用意いただく際は型番をご確認の上お買い求めください。
- 製品お買い上げ時に初期セットされた電池はテスト用試供品です。
早々に新品の電池と交換してください。

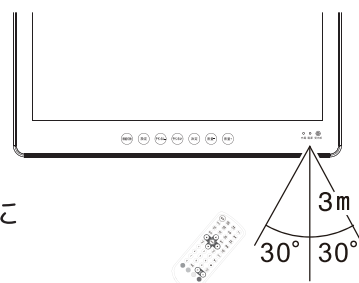
◎電池の取付け / 交換の方法

リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。



◎リモコンの基本的な使い方

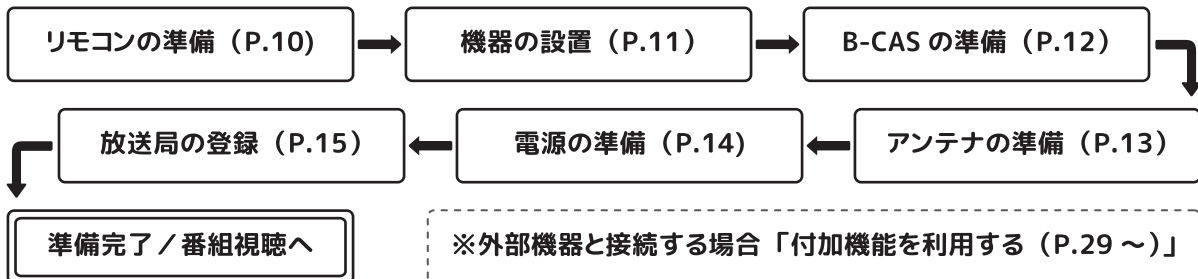
- リモコンはテレビ本体正面右側にある『リモコン受光部』に向けて操作してください
- リモコン操作は「距離3m以内」「左右30°以内」の範囲でのご利用が可能です。(右図参照)
- リモコンとテレビ側受光部の間に物などを置かないようにご注意ください。



ご視聴前の準備

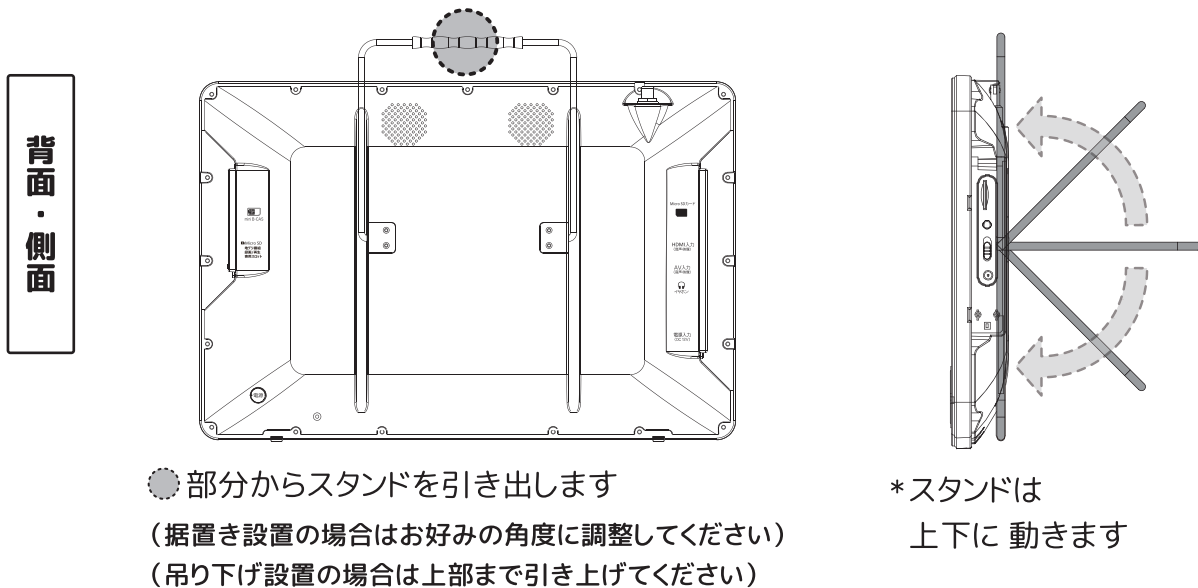
◎ご視聴前の準備

- ご視聴までに必要な流れは以下の通りです。(設置・接続・設定など)



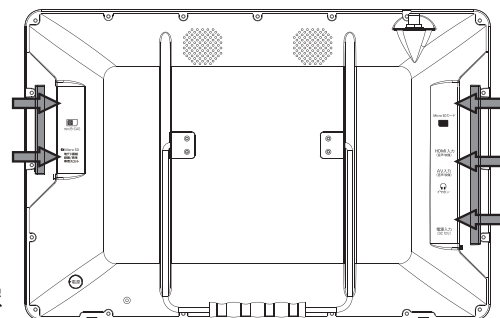
機器の設置

◎機器背面部のスタンドを利用して好みの場所に設置してください



⚠ 重要 防水性能について

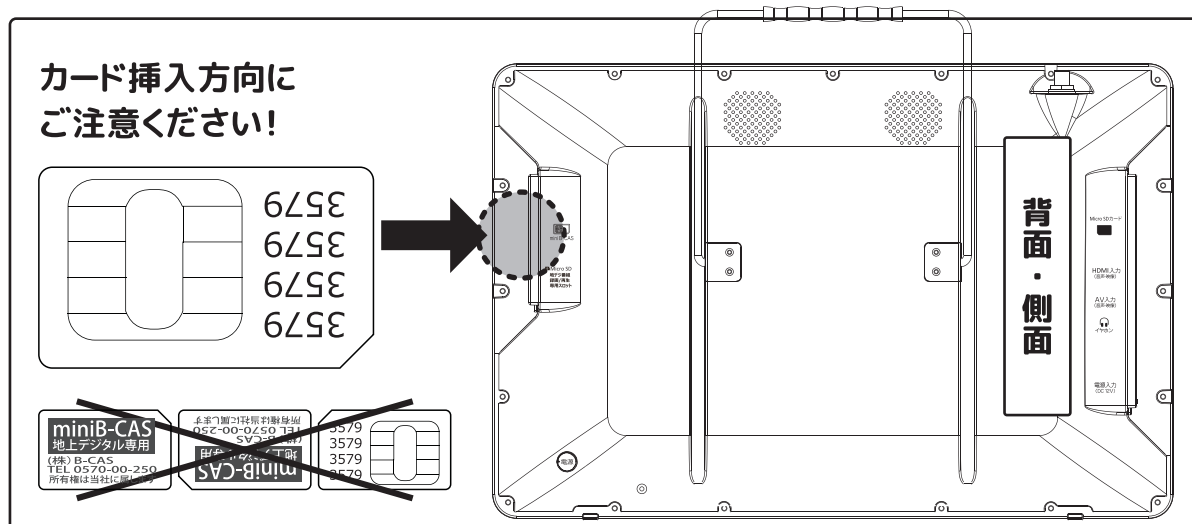
- 本機の防水性能はIPX7相当の生活防水仕様です。
- 防水性能を発揮させる為、端子部保護カバーをしっかりと閉じてご利用ください。本体内部に水が入ると感電や故障の原因となります。
- 本体内部に水が浸入して故障した場合、無償保証の対象外となりますのでお取り扱いには十分ご注意ください。



*端子保護カバーをしっかりと奥まで押し込んで閉じてください!

B-CAS カードの準備

■地デジ放送をフルセグサービスで視聴する場合、B-CAS（miniB-CAS）カードの常設が必須です。下図ご参照の上、正しく装着してください。



- ① 付属品として同梱されている「miniB-CAS カード」を台紙から取り出します。
- ② 本体背面から見て左側端子部にあるminiB-CAS挿入口を確認します。
- ③ 図を参照に「端子面が見える」「角欠け部分が下を向く」方向に真っすぐに押し込みます。（奥まで入ると「カチッ」と音が鳴りカードが固定されます）

（注）誤った方向に差し込むとカードや機器が故障する場合があります。
カードの挿入方向を間違えないようにご注意ください。

- ④ カードを取り出す場合、カード中央部をツメなどで押し込みます。
（バネの力で押し戻されてカードが排出されます）

（注）カードの取付けや取り出しの際は急に手を離さないでください。
内部のバネの力でカードが飛び出して紛失する恐れがあります。



（参照）B-CAS カードの取扱いに関する詳細はカード封入用紙をご確認ください。
B-CAS カードの破損・故障・紛失などに関するお問合せ先は下記の通りです。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステム / B-CAS カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

⚠️ ご注意（ご確認）ください

※地上デジタル放送サービスにはフルセグ放送サービスとワンセグ放送サービスがあります。
フルセグ放送サービスをご視聴される場合「B-CAS カード（付属品）」の取付けが必要です。

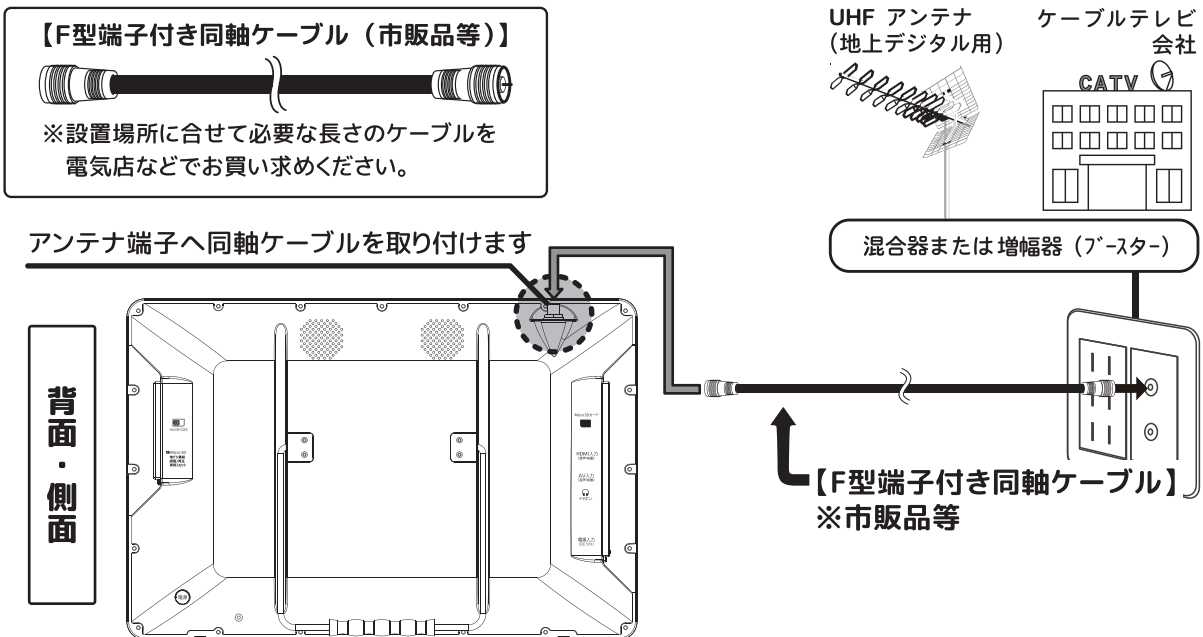
アンテナの準備

■地デジ放送受信用アンテナとの接続

- 地デジ放送サービスのご視聴には受信用アンテナとの接続が必須です。
各端子の形状などに注意して正しく取り付けてください。

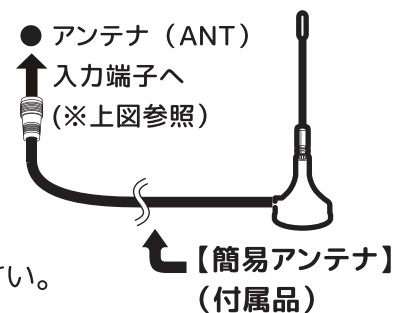
(1) 放送局の登録設定を行う場合 (P15 ～) / 屋内などでご視聴される場合

- 室内用の受信力の高いアンテナと本機を『F型端子付同軸ケーブル (下図)』を利用して接続してください。



(2) 屋外などでご視聴される場合 (簡易アンテナ (付属品) の利用)

- 付属品のアンテナは簡易的なものです。
ブースター (電波増幅装置) 等は内蔵されていない為、屋内・地下・山間部等の電波が微弱な場所ではご視聴いただけない場合があります。この場合 (1) の通り、受信力の強いアンテナと接続してください。



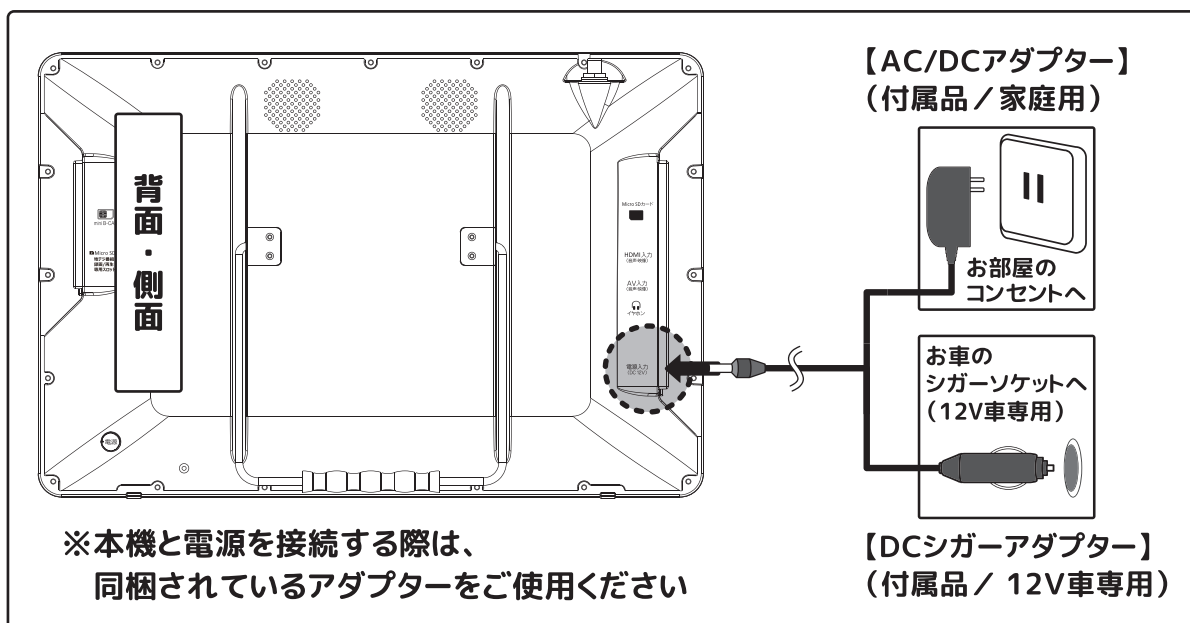
⚠ ご注意 (ご確認) ください

- ※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。
CATV (ケーブルテレビ) で伝送されている場合や共聴システムで伝送されている場合、伝送方式によってはご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域の CATV 会社や共聴システムの管理者 (マンション管理者など) にお問合せください。
- ※アンテナ線を他の電気機器等に近接しないでください。受信障害の原因となる場合があります。
- ※付属品アンテナを利用した場合、他の機器 (携帯電話やラジオなど) でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りません。予めご了承ください。

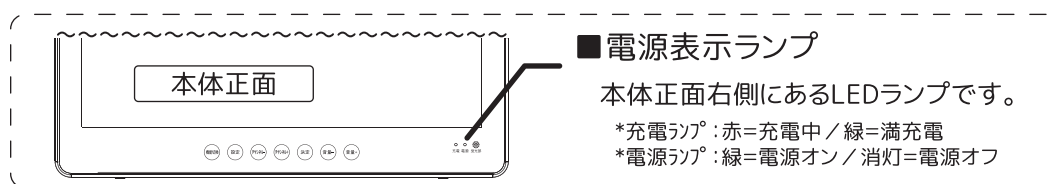
電源の準備

◎ 電源の接続

- ① 本体の電源がオフであることを確認します。
- ② 本体側面端子部にある「電源入力端子」と「電源アダプター（AC 又は DC）」と「電源（コンセントやシガーソケット）」をそれぞれ接続します。



- ③ 電源を接続して本機に正しく通電されると、充電表示ランプが赤色に点灯します。
(充電中:「赤」点灯/満充電時:「緑」点灯)
- ④ 通電確認後、リモコンの電源ボタンを押して電源を入れます。
(電源表示ランプが緑に点灯して本体が起動します)



⚠️ ご注意 (ご確認) ください

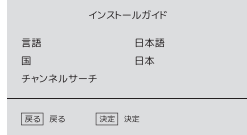
- ※各端子やケーブルとの接続は、本体の電源がオフの状態で行ってください。
- ※AC アダプターは必ず付属品のものをご使用ください。
- ※車載用 DC シガーアダプターは「12V」車専用です。24V バッテリー車等では使用できません。
(アダプターや本体に過度の電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※車載用 DC シガーアダプターはお車のエンジンをかけた状態で取付けてください。
(シガーアダプターを接続したままエンジンをかけると、スタート時に過度な電圧がかかり故障や破損の原因となる場合があります)
- ※エンジン停止中は車載用 DC シガーアダプターをお車のプラグから外してください。
(お車のバッテリーを消耗し続け、残量低下などの原因となる場合があります)
- ※電源アダプターを接続している場合、端子カバーを閉じることはできません。
水回りでご利用の際は、予め充電をしっかりとってから内蔵充電電池でご利用ください。

放送局（CH）の登録

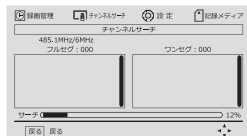
◎お買い上げ初期時やお引っ越し等により設置地域を移動した場合、その場所で視聴ができる放送局の登録が必要です。



〈システム起動中画面〉
画面表示が切り換わるまで
しばらく待ちます



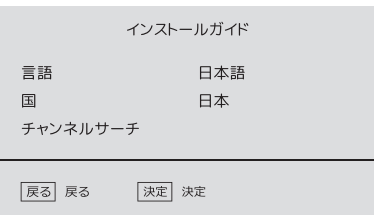
〈インストールガイド〉の場合、
「決定」ボタンを押します。
(CH サーチを開始します)



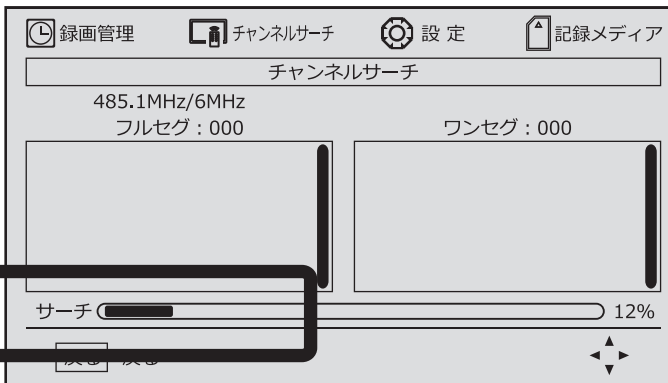
〈CH サーチ〉開始の場合、
スキャン終了までそのまま
お待ちください。

- ① 主電源をオン（入）にして画面表示（上図）を確認します。
- ② 〈インストールガイド〉が表示された場合はガイド項目を確認します。
確認後にリモコン（または本体）の「決定」ボタンを押します。
- ③ 登録可能な放送局の自動検索（チャンネルサーチ）が終わるまで暫く待ちます。
- ④ 放送局の検索／登録が終わると、登録された番組放送が始まります。

（参照）CH検索～登録設定の流れ

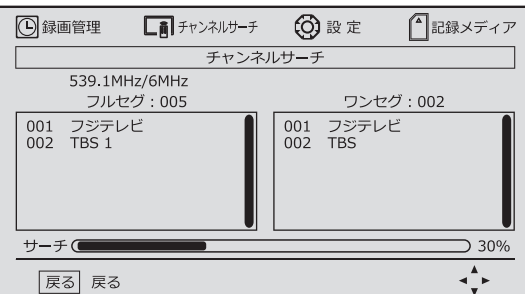


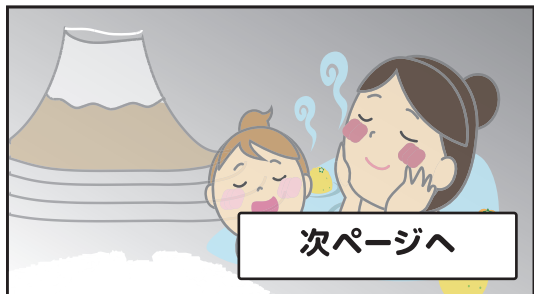
※インストールガイド表示の際は
「決定」ボタンで次へ進みます



※CH検索中は上記枠内のメモリが左から徐々に増えていきます。
検索が終了するまで暫く時間がかかりますのでお待ちください。

※アンテナが放送局を受信できた場合、
放送サービス（フルセグ／ワンセグ）ごとに振り分けて自動で登録していきます。





次ページへ

放送局（CH）の登録

◆ 放送局が登録された場合 ◆

- ※CHサーチ終了後、登録された番組放送が自動で始まります。
- ※受信レベルに応じた放送サービス（フルセグ又はワンセグ）で表示されます。
（放送サービスの優先度の設定については P.33をご参照ください）



■ 登録局の確認（チャンネルリスト）

番組放送中に「決定」を押すと登録放送局のリストが表示されます。
リストに表示されていない放送局はご視聴いただけません。
登録漏れなどをご確認ください。

※リスト表示中の操作

「◀▶」：ワンセグ⇄フルセグのサービス切換え

「▲▼」：登録局選択タグの移動 「決定」：視聴チャンネル切換え

◆ 登録が失敗した場合 ◆

- ※放送局の電波が正しく受信されずにCH登録が失敗した場合は画面表示が『インストールガイド』に戻ります。
- 下記をご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

- テレビ受信に必要な各接続の確認（アンテナ／B-CAS／電源）
- アンテナの状態の確認（設置場所や方向・CATV等の場合は伝送方法など）
- アンテナ受信レベルの確認（P.17 参照）

（注）屋根に設置されたアンテナの交換や方向調整などの作業は危険を伴いますので、電気店やアンテナ設置専門業者等にご相談ください。
集合住宅などの共同アンテナでブースターや減衰器などを増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者等とご相談ください。

⚠️ ご注意（ご確認）ください

- ※本機は一般的な UHF アンテナとの接続により地デジ放送をご視聴いただけます。
インターネット回線との接続による受信環境には対応しておりませんので予めご了承ください。
- ※CATV（ケーブルテレビ）会社や共聴システム等で伝送されている場合、伝送方式によっては本機ではご視聴いただけない場合があります。詳しくはお住まい地域（又はご契約）の CATV 会社や共聴システムの管理者（マンション管理者など）にお問合せください。
- ※チャンネル登録作業や屋内等でのご利用の際は「受信力の強いアンテナ」との接続を強く推奨しております。付属品アンテナを利用した場合、「放送局が登録できない」「受信が安定しない」などが起こる場合があります。
- ※付属品アンテナを利用した場合、他の機器（携帯電話やラジオなど）でTV視聴ができる場所でも、本機でご視聴ができるとは限りませんので予めご了承ください。
- ※受信力が高いアンテナ（共同アンテナなど）と接続してCH登録や視聴ができる場合は機器本体（TVチューナー）の故障ではありません。テレビ番組の視聴には「設置場所の電波環境が安定している」「アンテナが電波を正しく伝送できる」の条件が必要です。「付属品アンテナで視聴ができない」などのお問合せは対応いたしかねますので予めご了承ください。

アンテナ受信レベル

(アンテナの確認)

◎アンテナ受信レベルの確認

- 本機と接続したアンテナの受信レベルが低いと「映像が止まる（チラつく）」「音声が出ない（途切れる）」「フルセグで視聴できない」などの事象が起きる場合があります。下記操作手順でアンテナ受信レベルの確認が可能です。

番組視聴中に「表示(INFO)」を2回押すと受信局情報(下図)が表示されます



※受信レベルが低い（約 20%以下）の場合やレベルが安定しない場合、本機と接続したアンテナの受信レベルが低い為、安定したご視聴が難しい状態です。アンテナ側の状態などをご確認ください。

※付属品の簡易アンテナをご利用されている場合、受信レベルが 30 ～ 40%以上で安定する場所を探してアンテナ部分を設置してください。（推奨受信レベル：50%以上）

※放送サービスの優先度が「自動切替」又は「フルセグ固定」に設定されている場合、受信レベルが低い場所では「画面のフリーズ」「音声が出ない」などの事象が起きる場合があります。（優先度の変更は P.33 をご参照ください）

⚠ ご注意（ご確認）ください

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信（視聴）はできません。

※建造物内、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔が無い（又は遠い）地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、その他電波の受信に影響を及ぼす場所などでは受信（視聴）できない場合があります。

※デジタル放送は受信レベルが低下すると「映像が止まる（乱れる）」「ブロックノイズが出る」「音声が出ない（途切れる）」など様々な事象が起こる場合があります。

※次の放送は受信（視聴）できません。

〈アナログ放送〉〈BS/CS 放送〉〈データ放送〉〈緊急警報放送〉

※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。

※その他の不具合症状などが起きた場合、巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

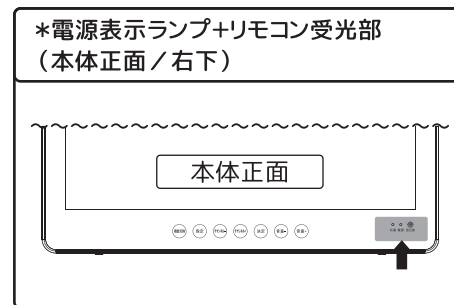
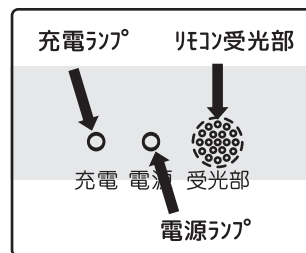
充電電池について

◎充電電池について

本機にはリチウムイオンポリマー電池（Li-po）が内蔵されております。
内蔵電池に充電済みであれば電源がない場所でもご使用が可能です。

◎充電方法

- 本書 P.14（電源の準備）を参照の上、本機と電源を正しく接続します。
本機に正しく通電されると表示ランプが点灯して充電が開始されます。
（電源表示ランプの状態は下記参照）



■ 電源表示ランプの状態

- * 充電ランプ：充電中は赤点灯／満充電時は緑点灯
- * 電源ランプ：電源を入ると緑点灯

◎充電時間

充電電池の電気が完全放電された状態から本体主電源オフ（切）状態で充電を開始した場合、満充電までの時間はおおよそ約 5 時間程度かかります。

* 上記記載の時間はおおよその目安です。使用環境や頻度等により異なりますのでご了承ください。

⚠ ご確認ください

- ※お買い上げ初期時の充電電池は満充電状態ではありません。
 - ※充電電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたします。
 - ※ご家庭で充電する場合、必ず当機専用 AC アダプター（付属品）をご使用ください。
 - ※お車で充電される場合、「DC12V 車である」ことをご確認の上、当機専用車載用 DC シガーアダプター（付属品）をご使用ください。またお車のエンジンをかけた状態でご使用ください。
 - ※充電に要する時間や充電電池による駆動時間は使用環境や方法などにより変化します。また充電後の駆動時間は、お客様の環境や再生頻度・再生方法等に依存しますことをご了承ください。
 - ※充電電池は消耗品につき寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電電池の容量は少しずつ低下します。駆動時間が大幅に短くなった場合は、電池寿命と思われますので、カスタマーセンターまでお問合せください。（電池寿命の目安：充放電回数 約 500 回前後）
- （注）充電電池は消耗品につき無償保証の対象外です。電池の交換は有償による対応となります。

- （重要） 電池寿命が近い状態で更に充放電を繰り返すと、リチウム電池の特性上、異常な発熱や膨張が起こる場合があります。このような場合は電源から本体を外し機器の使用を止めてください。
- （重要） お客様ご自身による本体の開封や電池交換は大変危険ですので絶対に行わないでください。万一お客様により本体の開封等が行われた場合、理由を問わず無償保証の対象外となります。
- （推奨） 満充電になったら「電源」「アダプター」「本機」を全て外すことを推奨いたします。

テレビを視聴する

◎当項目では機器の基本的な使い方操作や機能などをご案内いたします。

基本的な使い方 (P.19)

電子番組ガイド (EPG) の利用 (P.21)

基本的な使い方

電源を入れる／切る（電源オン／オフ操作）

- 電源から機器への通電の入切操作は、本体側面にある「主電源スイッチ」でのみ切り換えができます。（リモコンでは通電オン／オフの操作はできません）
 - リモコンは本体の主電源スイッチがオン（入）状態でのみ操作が可能です。
- ※ リモコンで電源をオフにした状態は〈スリープ（待機）状態〉です。

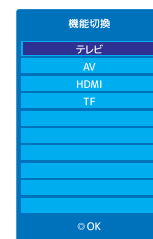
⚠ ご注意（ご確認）ください

※以下項目で記載する『ボタン』の名称（「●●」）は、主に『付属品リモコン』のボタン名称を記載いたします。お手元に付属品のリモコンをご用意の上、ご参照ください。

テレビ視聴モードを選ぶ（入力ソースの切換）※P.29 参照

- 「機能切換」 ボタンを押すと〈モード切換タグ〉が表示されます。
 - 「▲/▼」 ボタンでソースを選び「決定」 ボタンで切り換えます。
- （地デジ放送を視聴する場合は DTV を選択します）

〈モード切換タグ〉

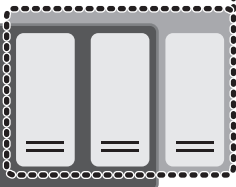


視聴チャンネルの切換（選局する）

- 「CH+/-」 ボタンを押すと登録局の主番号 * 順にチャンネルが切り換ります。
- *〈主番号〉とはCH番号(2または3桁)の下1桁の数字が1の番号を示します(例:051/081など)
- 「数字」 ボタン（2桁）を押すと指定チャンネル（主番号）に切り換ります。
 - 番組視聴中に「決定」 ボタンを押すとチャンネルリスト（P.16）が表示されます。
 - 「▲/▼」 ボタンでリスト内のCHを選び「決定」 ボタンで切り換ります。
- ※チャンネルリスト表示中の「◀/▶」 ボタンは放送サービスの切換（フルセグ/ワンセグ）

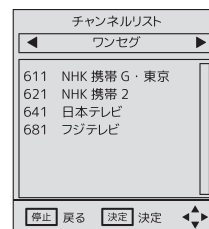
チャンネル番号（2～3桁）

リモコン
入力番号
(1または2桁)



（操作例）

- 【 211 】 を選局する場合、
- ① 数字ボタン「2」「1」の順に押す
 - ② 「CH+/-」 で切り換える
- 【 213 】 を選局する場合、
- ① 「決定」 でチャンネルリストを表示
 - ② 「▲/▼」 で 213 にカーソルを移動
 - ③ 「決定」 で選局されます



基本的な使い方

音量の調節／消音

- 音量の調整：「音量+/-」ボタンで音量を調節します。
- 消音（ミュート）：「消音」ボタンを押すと消音状態（音量0）に切り換えます。
もう一度「消音」を押すと消音操作前の音量で出音します。

字幕／音声の設定切換

- 字幕の設定：「字幕」ボタンで字幕のオン／オフを切り換えます。
- 音声の設定：「音声」ボタンで音声の設定を切り換えます。
「▲▼◀▶」で（主）（副）（主+副）を選択後、「決定」で確定
選択を確定してから「戻る」で番組視聴に戻ります。

※字幕／音声の設定はご視聴される番組によって操作や設定ができない場合があります

視聴番組の情報表示

- 番組をご視聴中に「表示(INFO)」ボタンを1回押すと番組の簡易情報を表示します。
※簡易情報はしばらくすると消えます



- 簡易情報を表示中に、もう一度「表示(INFO)」を押すと受信局の詳細情報が表示されます。
※★項目はワンセグサービス視聴時は「スキャン中」と表示されます



電子番組ガイド (EPG)

電子番組ガイドに関する詳細は P.21 をご参照ください。

録画に関する機能や操作

録画に関する詳細は P.22 ～をご参照ください。

機器や DTVe-トの設定

設定や調整に関する詳細は P.32 ～をご参照ください。